

宮代町郷土資料館だより

えんがわ

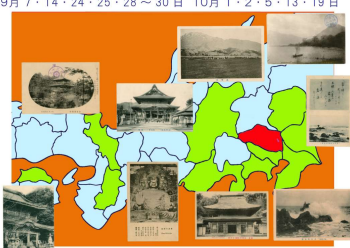
第 62 号

企画展 温故知新～明治から大正期の絵はがきでめぐる観光地～

宮代町郷土資料館では令和 8 年 10 月 25 日（日）まで、令和 8 年度第 1 回企画展「温故知

令和 8 年度第 1 回企画展
温故知新
～明治から大正期の絵はがきでめぐる観光地～

開催期間：令和 8 年 7 月 11 日（土）～ 10 月 25 日（日）
期間中の休館日
7月13・21・27日 8月3・10・12・17・24・31日
9月7・14・24・25・28～30日 10月1・2・5・13・19日



宮代町郷土資料館 〒345-0817 埼玉県南埼玉郡宮代町高野 239 番地
TEL 0480-34-8882 FAX 0480-32-5401
HP <https://www.town.miyashiro.lg.jp> E-M museum@town.miyashiro.lg.jp

今回のポスター

り、時代としては明治から昭和初期までのものとなっています。今回は、特に明治から大正期のものの中から、著名な観光地の絵はがきを紹介しています。

始まりのコーナーでは、明治 33 年（1900 年）に施行された旧郵便法（現在の郵便法は昭和 22 年に施行したものです）により、私製はがきが認められたところから、はがきのあて名面（裏面）がどのように変わっていったのかを紹介し、

あわせて、当时に人気を博した絵はがきのデ



風刺絵はがき

「モダンボーイ・モダンガール」

ザインとして、当時のトレンドだった芸妓などの「美人絵はがき」や、絵画・俳句・演劇などをテーマとした「芸術絵はがき」、あるいは世の中の風刺をテーマとした「風刺絵はがき」などを紹介しています。

次のコーナーからは、埼玉県を始まりに、東京都・茨城県・栃木県・千葉県・神奈川県・長野県・京都府・奈良県・香川県などの観光地の絵はがきを紹介します。

埼玉県内の絵はがきは、秩父地域のものが多く残っていますが、幸手市の権現堂にまだ桜の木が植えられていない頃の風景や、久喜市の鷲宮神社、あるいは、さいたま市の氷川神社などの絵はがきなども残されています。鷲宮神社の大鳥居は明治期に建てられたもので、2018 年に老朽化により突然倒れ、2021 年 12 月に再建さ

れて現在に至ります。絵はがきからは、鳥居の脇にあるお店が今も残っているなど、かつての様子がとてもよくわかるものとなっています。

次のコーナーは東京都内及び茨城県内の絵はがきを紹介しています。東京都内の絵はがきでは、上野公園前の大通りの様子や、東京駅構内、皇居の二重橋などを紹介しています。茨城県内は水戸地方のもので、水戸常盤神社や大洗海岸のものを紹介しています。

続いて栃木県内の絵はがきですが、ここでは中禅寺湖周辺のものを紹介しています。絵はがきの表面（通信面とも）に、中禅寺湖を訪ねた日と思われる日付印が押されているものが含まれています。

次は千葉県内のもので、枚数のあった銚子の他に、宮代からも割と近い野田にあった清水衆樂園という公園のものも紹介しています。

神奈川県内の絵はがきはいろいろとあり、全部を紹介しきれなかったので、今回は鎌倉、江の島、大山、箱根という著名な所のものを紹介



江ノ島全景

しています。モノクロ写真に手彩色を施して、あたかもカラー印刷のような作品も何点か紹介しています。

長野県内の絵はがきは、善光寺のものを中心に紹介しています。長野市街だけでなく松本市街の絵はがきからは、当時の町場の活気まで伝わってくるようです。

京都府内のものは、京都市内の著名な寺社のものが多く残されており、やはり、すべてを紹介しきれませんでした。そのため、修学旅行などで行くときには必ず訪問するような、特に著名と思われる場所を取り上げました。



京都 金閣寺

奈良県内の絵はがきは、東大寺のものを中心に紹介しています。大仏や大仏殿、二月堂など、訪ねたことがある方も多いのではないのでしょうか。

府県のものとしては最後になるのが香川県内の絵はがきです。ここでは讃岐の金刀比羅神社のものを紹介しています。

この展示の最後を飾るのは、富士山を写した絵はがきです。古くから人々の崇敬を集めてきた富士山は、歌や絵画などの題材とされ多くの



乙女峠より富士遠望

名作が生み出されました。写真のモデルとして富士山を撮影した経験のある方も多いのではないのでしょうか。

今でこそ携帯で気軽に写メを撮ることができますが、カメラですら所有することが難しかった時代には、旅先で見た風景の美しさや感動を思い出として手元に置くためには、絵はがきは恰好のアイテムであったことがうかがえます。

期間中の休館日は、7月13・21・27日、8月3・10・12・17・24・31日、9月7・14・24・25・28～30日、10月1・2・5・13・19日です。

絵はがきを見ながら、プチ旅行気分を味わってみませんか。皆様のお越しをお待ちしております。

山崎遺跡から縄文時代の住居跡発見

令和8年6月10日（水）から25日（木）にかけて、山崎遺跡で発掘調査が行われました。調査の結果、縄文時代後期前半の堀之内式期（約3,500年前）の住居跡が1軒発掘されました。現在まで、遺跡の西側の台地縁辺部では、台地に沿って4軒の住居跡がまとめて検出されていましたが、そこから約230m離れた東側の台地中央部で、住居跡が発掘



縄文時代の住居跡

されました。これは西側の住居跡とは、別の集落と考えられますので、本調査地点（トラスト保全第5号地や山崎集会所付近）にも縄文時代後期の集落が展開されていたことが分かり、今後の縄文時代後期の集落のあり方を考える上で、非常に重要な成果となりました。



御朱印帳づくり講座が行われました

令和7年度第3回企画展「祈りと おふだ～宮代に伝わる信仰のかたち～」に関連する講座として「御朱印帳づくり講座」が、3月21日（土）に開催されました。おふだも、御朱印も社寺からの大切な授与物、その御朱印を手作りの御朱印帳で集めたいという皆さんが参加されました。

2回目は5月30日（土）に行いましたが、反響が大きく、6月13日（土）にも急遽、開催することになりました。講師の当館の学芸員から作り方を教わり、オリジナルの御朱印帳を手にした参加者の方は「御朱印をいたたくのが楽しみです」と話してくださいました。



今年の特別展は「笠原沼新田と用悪水」です！

今年の特別展は「笠原沼新田と用悪水ー江戸時代中期の新田開発ー」です。昨年は、笠原沼の造成から新田開発を展示しましたが、今年度はそれに続く、新田開発から用水・排水の管理について取り上げます。

笠原沼の新田開発は、下流域の百間村の用水源であった溜井の開発のため、新たな用水源が必要でした。ここで開削されたのが、見沼代用水と笠原沼代用水です。今回の展示では笠原沼代用水の開削や管理だけでなく、悪水（排水）である大落堀古利根川についても取り上げます。また、笠原沼新田だけでなく、堂沼や下ノ谷新田、逆井新田、百間四ヶ村請新田などの江戸時代中期の新田開発についても紹介します。

特別展は、10月31日（土）から12月27日（日）まで開催いたします。ぜひご覧ください。



資料館日誌抄

3月7日～7月5日 企画展「祈りと おふだ～宮代に伝わる信仰のかたち」

4月1日 旧加藤家住宅の内部、再公開開始

4月14日～5月10日 季節展示「五月飾り」

4月17日、18日、28日 旧加藤家の樹木伐採

5月1日 旧齋藤家住宅の内部、再公開開始

5月2日 社会福祉法人大樹会見学（7名）

5月4日 社会福祉法人大樹会見学（8名）

5月5日 社会福祉法人大樹会見学（4名）

5月6日 社会福祉法人大樹会見学（4名）

5月9日 社会福祉法人大樹会見学（8名）

5月13日 ひまわりの家見学（9名）

5月14日、15日 旧齋藤家住宅の雨戸修繕

5月20日 社会福祉法人大樹会見学（4名）

5月23日 てくてくミヤシロ講師派遣

5月13日～26日 山崎遺跡試掘調査

5月26日～6月5日 山崎遺跡試掘調査

5月28日 社会福祉法人大樹会見学（2名）

5月29日 社会福祉法人大樹会見学（7名）

5月30日 御朱印帳づくり講座（13名）

6月2日 山崎遺跡試掘調査

6月5日 グッドラック春日部中央見学（14名）

6月10日～25日 山崎遺跡発掘調査

6月9日 百間小学校2年生「まちたんけん」（12名）

6月11日 春日部市史見学（8名）

6月11日・20日 正門・旧齋藤家住宅周辺樹木伐採

6月13日 御朱印帳づくり講座（8名）

6月17日 第1回宮代町文化財保護委員会

6月21日 屋外展示物特別見学会（33名）

6月16日～7月1日 埼玉県教科書展示会

7月4日 みやしろ市民ガイドクラブ見学（7名）

7月11日～10月25日 企画展「温故知新～明治から大正期の絵はがきでめぐる観光地～」

宮代町郷土資料館だより えんがわ 62号

発行日 令和8年7月31日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原 289 番地

電話番号 0480-34-8882

H P <https://www.town.miyashiro.lg.jp>